

予算特別委員会



新年度一般会計予算を詳細に審査

付託された案件は提案どおり
可決されました

31年度一般会計予算

一般会計の予算編成にあたっては、財政規律に留意しつつ限られた財源の中で、より良い市民サービスを提供できるよう、重点化・効率化を徹底した予算に心がけた結果、予算規模は188億5千万円となり、前年度当初予算との対比では、9・8パーセントの増です。

予算特別委員会の審査の過程では各款にわたり、多くの質疑、意見等が交わされました。

(主な質疑・意見等)

区長等報酬、組長報酬について

問 高齢化の問題や仕事の関係で区長、隣組長へのなり手が少ないと聞くが、市はこのことをどのように捉えているのか。

答 区長、隣組長は地域づくりを構築していくためには要となる方で、地域の安全安心や自主防災組織にも関わってくる問題です。そのような意味でも地域づくりは大切であるということへの住民意識の醸成や向上を図っていききたいと考えています。

問 区長報酬の引き上げや業務軽減のため市報配布回数を減らすなど、検討したことがあるのか。

答 区長報酬の引き上げや業務量の軽減で解決するような問題ではないと考えており、このことは大川市だけの問題ではなく、全国的にも同じような問題が起こっています。配布だけなら業者に委託した方が安いのではないかとという感覚もありますが、一方ではお金に変えられない人が人を見て、健康かどうかや問題なく生活されているか等、日常生活や会話から集められる情報も沢山あります。区長、隣組長制度のあり方については、いろんな面も含め慎重な論議が必要となってくるので、内部で充分検討していきたいと思えます。

「大川の駅」計画等策定 業務委託料等について

問 「大川の駅」計画等策定業務委託料及び「大川の駅」推進協議会委員謝礼の内容は。

答 これまで3年近く、国県に対し「大川の駅」設置に関する要望を行ってきた結果、一定の理解をいただいたところであり、今後具体的に進めていくには本市の本気度を示すことが一番重要だと考えています。本計画を作るには市職員だけでなく、市民、業界、社会教育団体等、いろんな方々を含めた15名程度の委員で構成される推進協議会を設置し、その中で「道の駅」「川の駅」の基本計画を作りたいと考えています。さらには、この基本計画をもって、本市の本気度を国県に示し、「大川の駅」の核となる施設についても、福岡県に造っていただきたいと考えています。

外国人留学生支援補助金 について

問 外国人留学生支援補助金の対象者と支援内容は。

答 昨年12月、外国人労働者の受け入れを拡大するため、出入国管理法が改正されました。職種としては、外食系、建設業、介護系などの単純労働にも拡大されましたが、本市においては、特に介護系の職種が増えてくるものと考えられます。その中には、日本語を話せない外国人も多いと見込まれ、市内の大学や専門学校などでは、日本語習得のための外国人留学生の受け入れも始まることから、本市としては市内に住み、大学や専門学校等へ通う外国人留学生に対して、生活の安定と学業への専念ができるよう支援し、併せて、転入による人口増加が見込めることから、補助金を新設したいと考えています。



子育て支援総合施設設計等 業務委託料について

問 子育て支援総合施設設計等業務委託料の予算の内訳は。

答 30年度に作成した基本設計に基づき、31年度は実施設計業務委託料に3千140万円と地盤調査委託料に540万円の予算を計上しています。

問 地盤調査の経費が高いようだが、どのような調査を予定しているのか。

答 一般住宅の地盤調査とは異なり、公共施設整備に係る地盤調査なので、2箇所分のボーリング調査及び土質調査を予定しています。

問 子育て支援を目的とした新しい施設であるので、建物だけではなく内容が充実した施設となるよう現場の意見等を聴いているのか。

答 施設の計画にあたっては、大学教授や子育て中の保護者の代表の方々等で構成される子育て支援総合施設整備計画策定委員会を立ち上げ、様々な意見をいただいております。今後、ソフト面についてもなるべく実現できるよう努めていきたいと思えます。

予防接種事業について

問 予防接種事業のうち、新規の事業の内容は。

答 国が実施主体となる風しんの予防接種は、接種機会がなく抗体保有率が低いと言われている39歳から56歳の男性を対象に、抗体検査の結果、抗体保有率が低い場合は、公費で予防接種を受けることができます。市が実施主体となる風しんの予防接種は、妊娠を希望される女性、妊娠中の女性の配偶者や同居家族等を対象に、抗体保有率が低い場合は、公費で予防接種を受けることができます。また、市が実施主体となる麻しんの予防接種は、児童福祉施設である保育園、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所に勤務する職員を対象に、公費で予防接種を受けることができる事業です。

水路整備事業について

問 水路整備事業に関して、市民からの要望とその対応状況は。

答 平成14年度から総計563件の要望があっており、40・3パーセントにあたる227件が完了しています。すべての要望について現地調査を行い、緊急性、危険性を判断し、優先度の高い場所から整備を行っています。市の単独事業と併せて、県の補助事業である農村環境整備事業と集落基盤再編事業を積極的に活用して、水路整備を進めていきたいと思えます。

クラフトマンズデイについて

問 昨年行われたクラフトマンズデイのPR不足の原因は。

答 市報やホームページ等で周知しましたが、なかなか浸透しませんでした。31年度は、大川インテリア振興センターの事業として、オープンファクトリーという形で行いたいと思っており、実行委員会の中で、PRの仕方を協議していききたいと思えます。

